

2018年11月22日

共修プログラム企画申請書

- 【 】 ①派遣留学生を増やすためのプロジェクト
【○】 ②外国人留学生を増やすためのプロジェクト

プロジェクトタイトル

PVP（パラノマ・ビュー・プロモーション）によるバーチャル研究室体験！
I S T Cの魅力を世界に発信しよう！

プロジェクトメンバー

- ◎グループリーダー：中原 凌汰 機械システム学科 B3
：畑谷 実玖 化学システム創成工学科 B2
：松尾 寧々 化学システム創成工学科 B1
：ZOU SHUAI 機械工学専攻 D1
：NGUYEN PHUONG THI MINH 応用化学専攻 D2
：畑谷 侑里 機能分子・生命化学科 B2
：西野 優冴 化学システム創成工学科 B1
：AGYAPONG ELVIS KOFI 電気電子工学専攻 M1
：MZINYATI THABISO EDWARD 応用化学専攻 M1

プロジェクトコンセプトとその理由

外国人留学生を増やすために、何が必要なのかと考えたときに、まずは理工学部・理工学研究科を世界中の人々に知ってもらうことが必要だと考えました。現在でも国際科学技術コース（I S T C）のHPや紹介冊子がありますが、もともと同志社大学に興味のある人しか見る機会が少なく、従来の発信ツールや周知方法では、十分に効果が得られないのではないかと考えました。

そこで私たちはキャンパスや研究室の雰囲気や平面写真では得られない臨場感を持って発信するPVP（パラノマ・ビュー・プロモーション）を活用して、英語で研究室を紹介するプロジェクトを実施します。また、PVPが完成したら、I S T CのHPやFacebookで成果物を発信し、協定校に周知をするだけでなく、近畿県内にある日本語学校等に直接出向いてI S T Cの魅力を宣伝したいと考えています。

上記のように、これまでになかった発信ツールと周知方法で理工学部・理工学研究科の魅力を多くの人々に発信し、外国人留学生の獲得を目指します。

プロジェクトの実施方法

本プロジェクトを円滑かつ確実に進めるために、①グループメンバー、②選定業者、③理工学部事務室（プロジェクトサポーター）、④教員（プロジェクトアドバイザー）の4者でPVP作成の目的および作業内容等の情報を共有することが大切であると考えています。

まずは、どのようなPVPを作成するかを検討するために現状の分析を行います。理工学部事務室に協力を依頼し、現在、HPや冊子等で発信している内容等を確認し、うまくPVPと内容がリンクできるように検討します。

PVP作成業者（大平印刷を検討中）と打ち合わせを実施し、海外からでもバーチャル体験ラボができるようなプロモーションの流れ（撮影ポイント、カメラワーク）を検討します。コストの問題によりPVPで紹介できる研究室は、全研究室は難しいため、1専攻で3～4研究室の予定（全体20カットの予定）ですが、適宜、理工学部事務室やプロジェクトアドバイザーと相談しながら決定したいと考えています。

PVPのコンテンツには、英語での説明文の掲載や、英語でのラボ紹介動画を検討しています。プロジェクトメンバー以外のISTC留学生にも協力を依頼し、文書の英訳や実験中の説明を英語で行っていただくなどの謝礼を支払う予定です。

PVP作成が完了したら理工学部HP、ISTCのHPやFacebookで広く周知し、また協定校にも留学を希望している学生に広く周知してもらうように依頼します。

日本語学校等への宣伝については、プロジェクトアドバイザーと相談しながら、先方にアポイントをとり、宣伝に行きたいと考えています。

必要経費

・PVP作成委託費	600,000円
・事前業者打ち合わせ旅費	50,000円
・協力謝礼（5専攻×2名）	100,000円
・日本語学校等宣伝旅費	50,000円

=====

合計	800,000円
----	----------

プロジェクト実施スケジュール（企画、実施、報告）

7月中旬～8月上旬	ISTCのHPや紹介冊子の検証
8月中旬～10月下旬	コンテンツ検討、業者選定
11月12日	業者打ち合わせ
12月上旬	コンテンツの細部の構想、英訳作業開始
12月下旬	研究室撮影、インタビュー、

1月上旬～2月上旬	業者からPVPデータ（初校）納品
2月中旬～2月下旬	PVPデータ校正、確認、完成
3月上旬～3月下旬	協定校、HP、日本語学校等へ成果物（PVP）紹介
3月下旬	報告書作成

期待できる成果

- ・これまでにないバーチャルラボ体験を提供することにより、海外にしながら本学理工学部・理工学研究科のラボの雰囲気や実験風景を体験することができる。
- ・これまで同志社のことを知らなかった日本人学校等の生徒にも周知できる。
- ・先駆的なツールでアピールすることにより本学の国際的なプレゼンス向上に繋がる。

その他留意する事項

- ・業者の選定は理工学部事務室および教員（アドバイザー）と相談しながら、学内のルールに従い、発注を行う。
- ・研究室の選定時には、事前に教員（アドバイザー）に相談し、研究室指導教員にも事前に撮影許可を得たうえで実施する。また、企業との共同研究等で使用している実験内容等の機密情報が漏洩しないように、コンテンツ掲載内容は研究室指導教員の承認を得てからデータ作成を業者に依頼する。